

# 福祉情報誌

暮らしに役立つ、ちょっとわくわくすることがある、そんな情報を贈ります。

平成28年12月20日(毎週火曜日)増刊 AJU通巻12461号

昭和54年8月1日低料第三種郵便物認可

発行所/東海身体障害者団体定期刊行物発行協会  
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター4F

## AJU自立の家

## 第145号

2016年12月20日

定価250円

編集/社会福祉法人AJU自立の家  
福祉情報誌発行委員会  
発行/AJU車いすセンター  
わだちコンピュータハウス  
連絡先/〒466-0025  
名古屋市昭和区下横町1-3-3  
わだちコンピュータハウス内  
TEL.(052)841-9888  
FAX.(052)841-3788  
E-mail: f-joho@aju-ci.com

テーマ

change

「change」  
書 高橋 誠



絵 川口いづみ

### はじめの一步をふみだしたあなたへ

- インクルーシブ教育  
私が決めた道  
公立高校への巻.....1
- ひろがれ福祉  
今こそ、すべての人に情報保障を！ .....5
- かつきのページ.....10
- 体験レポート  
僕を変えてくれた JIL と富山.....11  
お互いさま、助け合い精神を  
大切にしている場所 .....14  
TREE CRIMBING に挑戦！ .....17
- 旅の空から.....21
- トラベル情報.....24  
リフト付きバスで沖縄海嘯4日間ツアー  
日本平 & 石垣いちご狩り  
他
- 福祉用具のリサイクル情報 .....26
- 読者のこえ・いろいろ情報.....27  
ひかり鍼灸院 東洋医学体験談  
NTTドコモ「みえる電話」について  
会話が見える化アプリ「UDトーク」  
AJU福祉映画祭 in Nagoya2017  
他



## TREE CLIMBING に挑戦!



皆さんこんばんは。現在、わだちコンピュータハウスで働いております、小川直人です。フロレスラーの小川直也に似てますが、ハッスル!ハッスル!はしてません。どうしてもやってほしいとなれば…直接言いに来てください。ガッカリして帰られるかもしれません。出身は豊田市ですが合併で豊田市になったト田舎の“旧 小原村”というところで、目の前はほぼ田んぼか畑。空気が美味しいところです。僕には分かりませんが…。初めて情報誌に書きますので下手ですけど、温かい心で読んで

てください。今回はツリークライミングについて書きます。

こんにちは!!わだちコンピュータハウスの木造です。さて、今回私は10月29日、名古屋市名城公園で行われたツリークライミングに挑戦してきました~!その様子を紹介します。(みなさんもツリークライミングがやりたくなっちゃうかも?!)



### ツリークライミングって?

ツリークライミングは、ロープや道具などを使って木に登ったり、ハンモックに揺られたり...子どもや障害者、高齢者も楽しめるレクリエーション。競技ではないので自分のペースで、自分の行きたいところまで登ることができます。

登る前には、下草を刈ったり枯れ枝を剪定するそうです。これは、登る人たちの安全のためだけでなく、木を健やかに成長させることにもつながるそうです。楽しみながら自然保護もできるのですね。

今回私たちが参加したのは、「フィジカルチャレンジャーツリークライミング」といって、障害者が挑戦するツリークライミングでした。

ツリークライミングはアメリカが発祥ですが、障害者が挑戦できる技術はありません。ジョン・ギャスライトさんが、車いす生活をしている日本の女性と出会い、日本に帰国してから、障害者も参加できるような道具の開発を重ね、日本からス

タートしたツリーセラピーだそうです。来年には、この「フィジカルチャレンジャーツリークライミング」を世界へ発信していくそうです。

### どうやって登るの?



当日は、ジョンさんに教えていただきながら、挑戦しました。

ジョンさんが、楽しく話をしながら手や足などにどれくらい力が入るかチェック。

そして登る前には、サドル(安全带。ハーネスともいう)を装着します。後ろもしっかりカバーされています。

登り方には2つの方法があります。













つつも、またノリと返事だけがいいところを発揮してしまい、「やります〜！」と返事をしてしまったのです。

## 根性だ〜！



やると決めたからにはやるしかない！Kさんに車いすから降りしてもらって、サドルにロープを引っ掛けブレイクス(結び目)を上上げてから

ロープを引っ張りフットループを下に蹴って上に登っていきます。

まあ結び目の硬いこと！おそらく手に障害のない人なら簡単にブレイクスをあげることができると思いますが、私の握力では必死にならないと上がりません。結び目をゆるくしてもらってKさんに体を支えてもらいながら、スタッフさんに助けてもらいつつ、なんとか少しずつ、少しずつですが登っていくことができました。



## まだいけるよ〜

私に付いてくれたスタッフさん。とってもいい方で、私をなるべく高いところまで登らせてあげようとしてくれました。私が「もうだめ〜!!!」と心の中で思っていると、私の心が読めるのか？！「まだいけるよ〜！まだまだ!!!」と声をかけてくれ、そんなことを数回繰り返し、Kさんとスタッフさんのおかげでなんとか3~4mは登ることができました。こんなに登れると思ってもらえなかった私は、ただただびっくりでした。



## 初ハンモック



次は座るタイプに乗ろう！となり、またもや必死でただひたすらハンモックを目指し、ロープを引っ張ります。ハンモックまでは、おそらく6mほど。きっとこの時の顔は必死すぎてものすごい形相になっていた

ことでしょう…。

なんとかかんとか、ハンモックまで辿り着くことができました。

Kさんもハンモックと一緒に寝そべり10分くらいハンモックでゆっくりさせてもらいました。



青空とこちよい風に吹かれて、「あー登ってよかったなあ」としみじみ思いました。

## 大変だったけど……

終わったあとは、へとへとでしたが、今回ツリークライミングに参加できて本当に楽しかったです。ブレイクスを上げたり体力的にも大変でしたが、なかなか障害を持っていると体験できるスポーツも少ないので、ツリークライミングジャパンさんのように障害を持っていてもスポーツ体験ができるよう考えてくれる団体がもっともっと増えればいいのになと思います。

お問い合わせ 

ツリークライミングジャパン 事務局

〒480-1201

愛知県瀬戸市定光寺町 323-4

TEL:0561-86-8080

FAX:0561-86-8580

E-mail :

info@treeclimbingjapan.org